

# 充実した おわせ暮らしを送るために

おわせによろこそお越しくございました。

住まい探し、仕事探し、近所付き合い、地域に溶け込むなど、移住はこれまで住んでいたところとは違う部分も多いと思います。そして、地域の人すべてが移住者を特別扱いし歓迎して迎えてくれるわけではありません。充実したおわせ暮らしを送るためには、地域の長年築き上げてきた風習や文化、コミュニティに入っていくという認識を持ち、地域と協調していくことが大切です。これまでに移住された方、地域の方々の経験をもとに、おわせ暮らしを始めるポイントをまとめました。

## 1. 移住の目的を明確に

あこがれだけではNG！都会との違いから戸惑うことも多いのが実情です。移住するのは自分の判断です。困ったとき、環境や人のせいにしても解決しません。なぜ、移住しようと思ったのか、何をやりたいのか、目的を明確にしておくとも悩んだ時にも原点に立ち返ることができます。

## 2. 住まい探しは慎重に

理想の物件が見つかって、いきなり購入されるのはお勧めしません。実際に生活してみないとわからないこともあります。まずは賃貸で地域の暮らしに慣れ、「ここなら大丈夫」「この物件なら大丈夫」と確信してから購入を検討しましょう。

## 3. 最初の印象が大切

田舎において最初の印象は特に大切です。移住を焦る必要はありません。移住するまでに地域に通い、1人でもいいので、地域で人の縁を作ることをお勧めします。また引っ越し等の際には地区の区長さんや、近所の方々に挨拶回りも大切です。その際には自分たちがどういう暮らしをしたいのか伝えておくといいでしょう。

## 4. ご近所とのつきあい

田舎では周りの人が移住者の生活状況を観察しています。古くから地域で助け合って暮らしてきたことから、移住者だけでなく、常に周りの人々の状況を気にかけています。また、外部からやってきた人がどのように暮らしているかは非常に興味があります。こうした状況をうまく活用してご近所や地域の人々に積極的にコミュニケーションを図り良好な近所づきあいをすることで、楽しい暮らしになります。

## 5. 地域に溶け込むことが肝要

郷に入ったら郷に従うという言葉がある通り、地域には古くからの風習やしきたり、伝統文化、共同作業など固有の行事などがあります。馴染めない風習や非効率なこともあり、意見をいう事も大事ですが、自己主張と譲歩の加減が大切です。移住者だからという意識を持たずに、地域の行事にも積極的に参加し、地域に溶け込むように努めることが大切です。

## < 実際におこったトラブル例 >

地方移住には良い点ばかりではありません。思っていた移住とは違って、移住先でトラブルになった、短期間で引き揚げてしまった…など、実際にあった移住に関するトラブルについて掲載しますので参考にしてください。充実したおわせ暮らしを送られることを願っています。

### 🦋 ご近所トラブル事例

念願の田舎暮らしをスタートさせ、都会では難しかった庭でのバーベキューをしたところ、バーベキューの煙が隣の家の洗濯物ににおいをつけてしまい、近所からクレームが殺到して近所付き合いがぎくしゃくしてしまいました。

尾鷲は漁村集落なので、住宅が密集しています。たとえ自分の敷地内であっても近隣に不快な思いを与えるケースがあります。普段からご近所とコミュニケーションを取り、事前に伝えておくことがポイントです。

二拠点居住のため、数カ月家を空けることが多く、たまたまテレビ（ステレオ）を付けたまま数カ月家を空けしまった結果、近所が心配して大きな騒動となってしまった。

田舎の近所関係は、生活や防災など見守りが当たり前となっています。二拠点居住などの移住スタイルを事前に伝えておけば大きな騒ぎにはなりません。

空き地を地域の共同駐車場にしている場合が多く、駐車場に関して近隣とトラブルとなりそれがきっかけで近隣の関係が壊れてしまった。

都会のように駐車ラインが引かれていない場合がほとんどです。長年の暗黙のルールなどもあるので、複数の方によく話を聞くことが大切です。

近隣の些細なトラブルが、誇張され集落全体に広がってしまった。

小さな集落では、住民の多くが血縁や親戚関係など何らかの繋がりがります。そのため些細な話でもすぐに広がるが多々あります。なるべくトラブルを回避することも大切ですが、地区会等の自治組織に加入し、周辺に理解してくれる人や何でも話せる人を作ることも1つの方法です。また、噂話などはすぐに収まるものでもなく、時間をかけていくことも重要です。

### 🦋 住まいのトラブル事例

見たところ使用可能と思われる住宅設備だったが、住み始めてから便槽に割れが見つかった、給湯器のボイラーが壊れていたなど、住宅の瑕疵が見つかり、予想以上に費用が掛ってしまった。

空き家バンクに掲載される物件は、築年数の経ったものが多いため、瑕疵が見つかった場合などの対処の仕方を契約時に相談しておくことが重要です。